



# ティアをめざして

## 本構想」「基本計画」を策定

町では、これまで4回にわたり、町の進むべき道筋を示す総合発展計画を策定し、町政運営の指針としてまいりました。現在の総合発展計画は今年度が最終年度にあたっており、17年度から10年間にわたる次期計画の第5次総合発展計画「ACT21ビジョン」みどりのフロンティアをめざして」を策定しました。

現在、町は7市町村による合併協議を進めておりますが、合併後においても、この総合発展計画を地域づくりのために最優先すべきものとし、実現をめざしていきます。

町では、急速に変化し続ける時代の流れに挑戦し、直面する課題に対処するための長期的なビジョンを示し、効果的な施策を展開するための第5次二ツ井町総合発展計画を策定しました。総合発展計画は、「基本構想」と「基本計画」により構成されています。「基本構想」は、平成26年を展望した10年間の長期計画であり、町の進むべき道筋を示すものです。「基本計画」は、基本構想に掲げた将来像を達成するため、5年間を計画期間とし、各部門ごとの施策を示すものです。

### まちづくりの考え方 (抜粋)

美しい自然に囲まれ、そのゆたかな恵みを受けて日々を過ごすことができるのは、私たちの誇りです。21世紀を迎えて、環境、自然、人間性回復、スローな社会の実現などが新たな時代のキーワードになっています。これまで顧みられなかった豊かな自然の存在が、これからの社会を支える基盤になるうとしていきます。

これまでを振り返り、21世紀社会を展望するとき、「みどりのフロンティア」を旗印とする環境立町のまち

づくりは、引き続きその精神を維持し、取り組みを強めながら定着、発展を期していくことが必要です。すでに成果が開始しているものはその可能性を伸ばし、芽が出てきたものは開花、結果に導いていく。その取り組みに、挑戦していきます。

やさしさや思いやりにも通じる「みどり」の精神は、環境問題にとどまらず、福祉や生活環境整備、教育・文化など町政のあらゆる分野に求められることであり、同じように取り組んでいきます。

町はこれまで多くの機会に住民の参加と協力を求めてきましたが、互いの信頼と尊重のうえに、さらにその方向性を強め、住民の主體的な行動を促しながら、行政がともに行動する「協働」のまちづくりへと発展していくように、そのあり方を追求していきます。

時代の変遷に応じ、町は能代山本7市町村による合併協議に臨んでいます。この計画は、合併後におい

ても、地域づくりのためにもっとも優先すべきものとして位置づけ、実現をめざしていきます。

### まちの人口目標

日本統計協会の人口推計によると、目標年次の平成26年の人口は9136人と想定されます。しかし、これまでの経験を生かしつつ、減少幅が縮小している状況も踏まえ、町民のみなさんと危機感を共有しながら「みどりのフロンティア」計画を積極的、かつ着実に推進することとし、第5次総合発展計画における人口の目標を1万人(目標年次「平成26年」と設定しました。

### 問い合わせ先

21創造課企画情報係  
(庁舎2階 番窓口)

73 5310



アクト  
**ACT21ビジョン**

# みどりのフロン

## ニツ井町総合発展計画「基

アクト  
**ACT21 ビジョン** ~施策の体系図~

